

「令和３年度環境測定分析統一精度管理ブロック会議」開催要領

1 目的

環境省が実施した令和２年度環境測定分析統一精度管理調査結果の評価や精度管理の問題点を議論することにより、地方公共団体試験研究機関等の環境測定分析業務の信頼性の確保と分析精度の向上を図ることを目的として開催する。

2 主催

全国環境研協議会（精度管理部会）

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室

3 参加者

全国環境研協議会所属機関の環境測定分析に従事する職員

地方自治体において環境行政に従事する職員で参加を希望する者

4 開催日・方法

令和２年度の調査結果に係るブロック会議は令和３年９月に実施する。開催方法は例年どおり５ブロックで、新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議又は書面会議とする。環境省、日本環境衛生センター、調査部会専門員は各所在地からWebで参加し、ブロックを構成する参加者はそれぞれの幹事機関の取り決めに従ってWeb会議に参加する。Web会議室は環境省又は日本環境衛生センターが設置する。

(１) 北海道・東北ブロック（幹事：山形県環境科学研究センター）書面開催

(２) 関東・甲信・静ブロック（幹事：横浜市環境科学研究所）９月28日（火）

(３) 東海・近畿・北陸ブロック（幹事：奈良県景観・環境総合センター）９月30日（木）

(４) 中国・四国ブロック（幹事：島根県保健環境科学研究所）９月17日（金）

(５) 九州ブロック（幹事：大分県衛生環境研究センター）９月29日（水）

5 会議の内容

議事や構成などの内容は各ブロックの幹事県の要望に従う。会議の際には、まず概略を各担当の講師から講義いただき（20分程度）、その後、質疑応答（10分程度）を行なう。

担当講師（専門員）の調整は、ブロック会議の日程が確定次第行なう。調査結果等に関する事前の質問がブロック会議参加者からあった場合には、該当する専門員等が回答を作成したものを、会議における資料とする。

次頁に会議次第の例を示す。

会議次第(例)

事項	時間	担当機関
1 開催の挨拶	7 分	開催機関の長 環境省水・大気局総務課環境管理 技術室室長
2 環境測定分析における留意点及び 精度管理について		
(1) 模擬排水試料（一般項目等） 質疑応答 1	20分 10分	有識者 3 名（環境測定分析検討会 統一精度管理調査部会専門員）に よる調査結果の報告（試料ごとに 20 分＋質疑応答 10 分程度を予 定）。分析上の問題点、分析結果 に影響する因子等について具体的 かつ重点的に解説。）
(2) 模擬水質試料（農薬） 質疑応答 2	20分 10分	
(3) 模擬大気試料（無機元素） 質疑応答 3	20分 10分	
3 質疑応答（全体）	5 分	
4 次期開催機関からの挨拶	3 分	次期開催機関
5 閉会の挨拶		開催機関

(備考)

- 1 議事の作成、進行は開催機関が行う。
- 2 開催時間は、全体で半日以内を目安とする。
- 3 開催に当たっては、都道府県、政令指定都市の環境行政担当部局からも参加者を募集する。
- 4 上記は、ブロック独自の講演等を実施しない例で、独自の講演等を実施する場合には、例えば、上記に追加する又は表中のいずれかの講演と替えことも可能とする。

6 その他

会議の庶務は、全国環境研協議会（精度管理部会）が行う。

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室は、会議の庶務のうち、有識者及び調査実施機関担当者の会議への参加に関する事務を行う。